

みかわ地域だより 13号

発行日:平成24年12月

発行元:三川地区公民館



花のパワーをもらって元気になれます。いつもありがとうございます!

三川地区公民館から船津中学校に向かっていくと船津公園北側の道路沿いにある花壇。いつもきれいな可愛い花が咲いています。誰が、お世話されているのだろう？それは、地域にお住まいの方々が、地域のためにとボランティアとして活動してくださっているのです。初めは早米来2丁目にお住まいの久具昭子さんが、平成15年の10月から一人で始められ、10年目に入ったようですが、今では公園前にお住まいの清水多景子さんとお二人でなさっています。「地域のみなさんが喜んでくださって時には、通りかかった人が声をかけてくださったり、花について訊ねられたりするのとてもうれしい」とニコリ笑って話してくださいました。

船津公園入り口にある花壇の前で！
今はパンジーの花がたくさん咲いています！



清水多景子さん

久具昭子さん

清水紀元さん

そのお二人の活動を見守っていらっしゃるのが清水さんのご主人、清水紀元さんです。清水さんは、10年以上にわたり地域・船津公園とその周辺を“見守り”続けていらっしゃいます。朝から三川地区公民館前の交差点に立ち登校する子どもたちや通勤される方、散歩・ウォーキングをしている人達にあいさつ・声かけをしたり、時には、歩みを合わせ一緒に話しながら歩かれたりすることもあるそうです。地区公民館や船津公園の辺りを地域の方々が心地よく過ごせる環境になるように、いつも心を配っていただいています。今回お話しをお聞きした三人の方々は皆さん“笑顔”が素敵でした。だからこそ、花壇に植えられた花も、きれいに元気に咲き誇っているのでしょう。

みなと校区で地域のまとめ役として活躍されている江崎会長にインタビューしました



みなと校区運営協議会会長
江崎君子さん

みなと校区運営協議会に再編して8年経過しましたが、今年4月に名称はそのままとして『まちづくり協議会』が発足しました。日頃から町内公民館、自治会活動にご理解、ご協力を感じ申し上げます。節目を迎えた今年、校区住民の願いは、個人の尊厳が守られ、安心安全にいきいきと暮らすまちづくりを構築し、その責務を果たす為に、さらなる活動に取り組む事を約束します。(みなと校区運営協議会会長 江崎君子)

生涯青春 はつらつ塾(地域塾)「手作り竹・わら工房」～何事も(チャレンジ)です～

古き良き日の伝統工芸として 竹・わら工房の応募に男8名、女8名があり、11月22日に開講式が行われました。早速、竹の話があり、竹の切り方、割り方、削り方など、各々体験して一生懸命「さいばし」作りをしました。指導者5人から話を聞きながら、削り方の要領などを聞き、初めてとしては思えないほど上手に出来上がりました。2回目の29日は「竹とんぼ」作り、女性の方も多かったのですが2時間がアツアツ言う間に過ぎました。お互いに完成品を見せ合い、褒めあっていました。3回目は縁起物のわらで作る「鶴・亀」4、5回目は「孫の手・ミニ門松」作りと楽しみが待っています。物作りは1人よりも2人、2人よりも大勢の人と話し合いながら作ると楽しいものです。笑いもできます。永く続いて冗談が言い合える仲になることを期待しています。三川地区公民館には、定期登録サークルが57あり自分の趣味や初挑戦される方も多く、窓口で相談されて人生を楽しんではいかがでしょうか。(天領校区 永田久夫)



白金町の古賀達也さん

講師の
永田久夫さん

※『手作り竹・わら工房』は、11月22日～12月21日(全5回)の講座です。

